

令和元年 6 月 25 日
審判長・卓球専門部長 井上 律

第 71 回 愛媛県中学校総合体育大会 卓球の部

競技上の注意・諸連絡

現行の日本卓球ルールに基づいて行います。

1 競技方法について

団体戦のチームは、選手 8 名以内、監督（当該校教職員）1 名をもって編成するものとします。なお、監督の他にアドバイザーとして、出場校の教職員もしくは当該校の校長の承認を得た外部指導者（外部指導者証が必要）いずれか 1 名のベンチ入りを認めます。

個人戦にはアドバイザー（コーチ）として、監督、または当該校の教職員、校長の承認を得た外部指導者、生徒いずれか 1 名のベンチ入りを認めます。

マッチ（試合）は 11 ポイント（点）制の 5 ゲームスマッチ（最終ゲームでは、どちらかが 5 本先取した場合、エンド交代する。ダブルスの場合は、ここでレシーバーも交代する。）で行い、サービスは 2 ポイント交代とします。

団体戦は 4 シングルス・1 ダブルスの 6 名制で 3 番目にダブルスを行い、3 点先取法で行います。ただし、各学校最初の試合は 5 番まですべてのマッチを行います。個人戦はトーナメント戦方式で行います。

2 大会使用球について

大会使用球は 40mm の（公財）日本卓球協会公認ホワイト球（プラスチック：TSP CP40+, Butterfly A40+, Nittaku）とします。本部で用意します。

3 競技服装について

競技服装は半袖シャツ、ショーツまたはスカートとします。在籍している中学校名入りのゼッケンを背中の中真ん中に着用してください。（全国中学校卓球大会では、団体戦・個人戦ともに 2 種類以上の服装が必要です。また、団体戦はチーム全員に 2 種類以上の同じ服装が必要です。）競技服装の主たる色はボールの色と明らかに違う色でなければならないので、白色を基調とするものは着用できません。監督・アドバイザーにおいても、白を基調とする服装は、競技の妨げになるおそれがあります。相手プレーヤーからのアピールがあれば、違う色の服に着替えてもらうことがありますので、ご注意ください。卓球の公認用具指定業者を除いて、在籍している中学校名以外の文字等がある競技服装は着用できません。外に出すタイプを除いて、半袖シャツはショーツまたはスカートの中に入れて競技してください。ただし、事情のある場合は、審判長に連絡してください。

4 ラケット・ラバーについて

ルールに適合したラケット・ラバーでマッチに臨むことは選手自身の責任です。ラバーはラケット本体より大きかったり、小さかったり、そして規定より厚かったり、平坦性にかけていたりしてはいけません。また、日本卓球協会が公認していない外国製のラケット本体を大会で使用する場合は審判長に事前に使用許可を受けてください。

ラバーを張り替える必要が生じたときには、日本卓球協会が公認した接着剤で指定された場所で張り替えてください。その場合、競技の進行に支障をきたさないよう十分に注意してください。

ラバーの確認をしておいてください。ラバーの状態によっては、試合に影響がでると審判長が判断した場合、そのラバーでの試合は認められなくなります。

試合のインターバルの時には、ラケットは台の上に置いてください。

5 プレーの継続性について

マッチ中、プレーは継続されなければなりません。プレーとプレーの間は時間をとらないよう気をつけてください。間合いをとりすぎるとバッドマナーとして扱います。汗を拭くためのタオルの使用は6ポイントごとのチェンジサービスのときに、サービスが1ポイントごとになったときも6ポイントごとに行い、またファイナルゲームのチェンジエンドのときも許可されます。故意の引き延ばしと見られる行動はしないでください。

6 アドバイスについて

選手がマッチ中にアドバイスを受けることができるのはゲーム間の1分以内の休憩時間やタイムアウトの要求が認められたとき、そして認められた競技の緊急中断のときだけです。このとき、選手はプレー領域の3m以内にとどまらなければなりません。この規定時間以外にベンチや観客席からの声やゼスチャー・サイン等で指示・アドバイスを受けてはいけません。また、マッチ開始直前の練習（2分間）の後はアドバイスを受けることはできません。

7 抗議権について

抗議権は団体戦の場合は監督に、個人戦は選手本人にあります。団体戦・個人戦ともにアドバイザーには抗議権はありません。

不明な点が生じた場合は、試合を中断して審判長に連絡してください。協議のうえ決定します。ただし、事実の判定（セーフかアウトか等）について確認はできますが、抗議できません。

8 タイムアウトについて

1マッチに1回、1分以内でタイムアウトを要求することができます。団体戦でベンチ入りしているアドバイザーは複数コートと同時に使用して行う場合のみタイムアウトを要求することができます。

9 促進ルールについて

促進ルールは両方の選手または組からの要請があった場合やゲーム開始後10分経過しても終了しない場合に適用されます。ただし、両方の選手または組のポイントスコアの合計が18ポイントに達した場合には促進ルールは適用されません。

10 審判について

今大会は、審判は相互または敗者審判で行います。団体戦においては、若い番号のチームが1番、3番、5番の主審を行います。

11 進行について

各試合1台または2台進行を原則とします。挨拶は、試合開始前、試合終了後きちんと礼をしてください。

団体戦では、若い番号のチーム（個人戦では、若い番号の選手）が本部に向かって左側のベンチを使用してください。

団体戦のオーダー用紙には、氏名（フルネーム）を記入、ふりがなは読みにくい場合のみ記入してください。提出は本部より連絡された時間に遅れないようにしてください。いったん提出したオーダーは変更できません。

12 サービスについて

2本交代、オープンハンドサービスを厳守してください。

サービスを出す際は、いったん静止し、ボールを明らかに16cm以上、ほぼ垂直に上げ、落下する途中を打ってください。

サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレイイングサーフェスよりも高い位置（コートの高さより上方）でかつエンドラインの後方になければなりません。またその間、サーバーまたはパートナーの体の一部または着用している物でボールがレシーバーから隠れない（常にレシーバーに明らかに見える）ように気を付けてください。

今大会は、相互または敗者審判で行うため、疑わしいサービスの場合は、本部が認めた場合のみ、警告→失点とします。

<開場及び公式練習について>

1 開 場 8 : 0 0

※ 時間厳守をお願いします。開場前の体育館周辺でのマナーを守らせてください。また、**開場後、本部で受付**を行いますので、監督は本部席へ来てください。

※ 駐車場の開放は7 : 30以降です。7 : 30より前のご来場は、国道の混雑につながるため、ご遠慮ください。

2 公式練習

団体戦（1日目）・・・ 開場15分後を目安に、**組合せ左側の学校、右側の学校の順に各校1台15分程度の公式練習**を予定しています。

個人戦（2日目）・・・ 開場15分後を目安に、**東中南予男女各4台ずつの公式練習**を予定しています。

<進行について>

1 団体戦（1日目）

開場（8 : 00）→監督者会（8 : 40）→開会式（9 : 00）→競技開始（9 : 30）

1回戦から原則として1チーム2台のコートを使用して、試合を行います。

1回戦すべての試合 → 2回戦（左側） → 2回戦（右側） の順に試合を入れていく予定です。

*決勝戦と同時に3位同士による代表決定戦を行う予定です。

2 個人戦（2日目）

開場（8 : 00）→監督者会（8 : 40）→開始式（9 : 00）→競技開始（9 : 30）

すべてのコートを使用し、ダブルス3回戦(ベスト8決定戦)まで実施します。(原則組合せ左上から)その後、ダブルスの進行と平行して、シングルス4回戦(ベスト8決定戦)まで(コート制)を実施する予定です。その後の試合についてはコール制(原則組合せ左上から)で行います。

*シングルスでベスト16に入った選手は、四国総体出場をかけて順位決定戦を行います。

(昨年度までと同様、トーナメント表に従って、敗者同士の順位決定トーナメントを行います。)

☆ 団体戦・個人戦とも監督者会及び開会式にて進行の確認(変更する場合有り)をさせていただきます。

＜四国総体（８月２，３日）への出場について＞

団体は上位３チーム、個人はシングルスの上位１０名に出場権が与えられます。**試合終了後、必ず会場にて登録**をしてから帰ってください。なお、今年度は高知県の県立春野総合運動公園体育館が会場になっています。

＜卓球専門部からのお願い＞

１ 体育館使用上の注意

- （１） 屋外用の履物は、シューズ袋等に入れて各自で管理してください。上下靴の区別をお願いします。
- （２） 観客席での飲食は、座席や床を汚さないようにご協力ください。
- （３） 体育館内の通路やロビーで、練習しないでください。また、正面玄関前等でのウォーミングアップは一般利用者等に危険なため禁止です。

２ 交通・駐車場に関する注意

- （１） 駐車場は有料となります。近隣の商業施設への駐車はご遠慮ください。
- （２） 駐車場内での事故防止にくれぐれもご注意ください。
- （３） 乗降は駐車場内をお願いします。
＊ 路上での乗降は危険ですので控えてください。

３ 競技運営上の注意

- （１） フロアへは、原則大会関係者（選手、監督、アドバイザー、役員）のみ出入りできます。
- （２） フロアでは、原則水分補給以外の飲食は禁止されています。水分補給する場合にも、こぼさないよう十分に気をつけ、こぼれた場合は必ず拭き取ってください。
- （３） 応援・観戦、また一般観覧者の写真・ビデオ撮影等は、観客席で行ってください。なお、フラッシュ撮影、ライトを点灯してのビデオ撮影は競技の妨げとなりますので禁止します。
- （４） 持参した飲食物等のゴミはお持ち帰りください。
- （５） 貴重品は各自・各校で保管し、盗難には十分に注意してください。

４ 緊急災害時の動きについて

緊急災害が起きたとき、本部席より放送で指示を出す予定です。慌てずに指示に従ってください。